

実践心理学科対象プログラム

プログラム	心理学×資格コラボ		
目的	(1)大学で学ぶ心理学を、社会に出てからの仕事に、どうやってつなげるかを考える機会をつくる。 (2)資格を取ることにどのようなメリットがあるのかを考える機会をつくる。 (3)どのような資格がどのような仕事に活かせるのか、その概略を学ぶ。		
内容	第1部 心理学を一般就職に活かすには：心理学×資格のコラボのススメ （「消費者行動の心理学」など心理学の多様な領域と、販売士他8つの資格を結びつけて、一般就職の面接で「自分の物語」をつくる方法を講義。資格についても概略的な説明を行う） 第2部 淑徳の先輩の経験に学ぼう！ （語学系、福祉系、ビジネス系など、様々な資格をもった淑徳卒業生8名が、どうやって心理学と資格を結びつけて仕事に活かしているか、パネルディスカッション、会場との質疑応答を行う） <取り上げる資格> TOEIC・英語検定／中国語検定ITパスポート／簿記／宅建／販売士／色彩検定／		
担当者	岩井 阿礼	実施回数	全1回の講演会形式、2コマ続きで行う。
実施曜日		実施時限	
実施場所		受講対象者	実践心理学科1・2年生
申込先	岩井先生まで	締め切り	
備考			

プログラム	心理専門職を知ろう		
目的	実践心理学科を卒業した後の進路の見通しを示すために、本学の卒業生による講義を行い、心理専門職への理解を深める。将来の進路についての具体的イメージを得る。		
内容	このプログラムでは、主に本学の実践心理学科を卒業して、各方面で活躍している先輩をゲストスピーカーとして呼び、実際の仕事の様子について話をしてもらう。それぞれの現場で求められるスキルや、その領域で働くためにはどのような準備が必要なのかなど、参加者からの質問も交えながら、今後の進路選択に有用な講義を行っていく予定である。		
担当者	千葉 浩彦	実施回数	前期（1回）
実施曜日	月曜	実施時限	3限
実施場所		受講対象者	実践心理学科の学生
申込先	千葉先生まで	締め切り	
備考			

実践心理学科対象プログラム

プログラム	心理系公務員試験対策講座		
目的	大学において学んだ心理学を活かした仕事に、心理系公務員の仕事がある。本講座は、心理系国家公務員および地方公務員を目指す人たちに、職種の説明からはじめ、最終的に試験に合格するための力を要請することを目指す。		
内容	最初に心理系公務員とは何かについて説明する。それから、試験に受かるためには何をしなければならないかについて説明する。そのうえで、具体的な心理系公務員試験対策を行っていく。試験対策は、教養試験対策、専門試験対策、人物試験対策の3つの柱から構成される。本講座では、2番目の専門試験対策に重点を置いたトレーニングを行う。1番目の教養試験対策については、キャリア支援センターが行っている公務員試験対策講座も並行して受講することが望ましい。なお、授業は講義および演習のスタイルをとる。		
担当者		実施回数	講義および演習 (オンラインとなる場合もある)
実施曜日		実施時限	
実施場所		受講対象者	実践心理学科3年次生以上
申込先	大橋先生まで	締め切り	
備考			

プログラム	心理学系大学院受験対策講座		
目的	本講座は、心理学系大学院進学を希望する学生を対象に大学院受験の際必須となる知識やスキルの習得を目的とする。具体的に本講座では、研究計画書の作成に関する知識やスキルの習得を目指す。		
内容	本講座は、研究計画書作成に関する、以下の一連のプロセスについて課題や演習を行う。 ①文献読解：文献を読むためのポイントをおさえ、指定された文献を読み込み、内容を理解する。さらに、理解した内容を他者へ伝える。 ②先行研究の検索・収集：論文検索や収集のためのスキルを獲得し、実際に先行研究を収集する。 ③研究計画の立案・計画書作成：①、②をふまえ、実際に研究計画を作成する。		
担当者		実施回数	
実施曜日		実施時限	5 限
実施場所		受講対象者	大学院進学を希望する学部3年生以上
申込先		締め切り	
備考			

実践心理学科対象プログラム

プログラム	心理学統計徹底学習プログラム		
目的	「単なる数値」の背後に隠された統計法の知識と実践的技能を身に着け、その知識を他者に伝える力を養うことを目的とする。		
内容	統計検定2級レベルの統計学の知識と実践的技能について基礎から学び、その背景にある論理を理解して論理的思考力を研ぎ澄ます。		
担当者		実施回数	通年（全24回）
実施曜日	金曜	実施時限	4限（後期は5限）
実施場所		受講対象者	実践心理学科2、3、4年生、 大学院生
申込先	神先生まで	締め切り	
備考			

プログラム	授業サポート講座		
目的	学生の日常生活における勉強をサポートするしきみを提供し、学業に困難を覚える学生のつまづきを初期段階で減らしたり、学習習慣を形成する。		
内容	受講生は教室に受講している授業の内容の復習や事前事後学習、提出レポートを持ち寄り、各自で取り組む。		
担当者		実施回数	
実施曜日		実施時限	
実施場所		受講対象者	何らかの事情で大学での勉強に困難を覚えている実践心理学科の学生の希望者
申込先		締め切り	
備考			

実践心理学科対象プログラム

プログラム	心理専門職をめざす人を応援するプログラム1～心理学の知識を確かなものにしよう～		
目的	これまで学んできた心理学の知識を学生同士で確かめあい、定着させる場を設け、学生が実践心理学科での学びに自信をもって、それを活かした道に進めるようサポートする。		
内容	学科の柱としている「臨床」「発達」「社会」のほか、基礎心理学の分野について、それぞれ重要事項をふりかえり、さらに受講生の関心や必要に応じて、プラスアルファの知識も得られるようにする。担当分野についてまとめたものをほかの受講生に発表するというアクティブ・ラーニング形式で行う。		
担当者		実施回数	
実施曜日		実施時限	
実施場所		受講対象者	大学院進学や心理系の公務員希望の学生や心理学検定受験を考えている学生。主に3年生を対象に考えているが、意欲のある2年生も歓迎する。
申込先		締め切り	
備考			

プログラム	心理専門職をめざす人を応援するプログラム2～臨床心理の事例を読もう～		
目的	心理専門職をめざしながらも、臨床の実際を知ることは少ない学部生に、臨床の事例を読む機会を設けることで、臨床の場への理解をすすめる。 さらにその魅力を知ることができれば、心理専門職をめざす内的動機を高めることにもなると考える。		
内容	病院、教育、福祉、産業、司法領域等、様々な領域の事例を通して、それぞれの現場を知るとともに、そこで感じ考えたことを自由に話し合うことで、臨床的な感性を養い、自身をみつめ、将来について思いをめぐらす機会ともする。		
担当者		実施回数	
実施曜日		実施時限	
実施場所		受講対象者	実践心理学科の2～4年生で、将来、大学院進学や心理系の公務員職を考えている学生。臨床心理の実際にもう少し触れて学んでみたいと思う学生も歓迎
申込先		締め切り	
備考			